

志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第18回検討会議事録（要旨）

- 1 開催日時 令和6年3月11日（月）午後6時15分から午後7時30分まで
 - 2 開催場所 グリーンカレッジホール 3階 教室1
 - 3 出席者 検討会委員20名【欠席者1名】
教育委員会事務局 学校配置調整担当課長、新しい学校づくり課長
教育委員会事務局副参事（施設整備担当）
新しい学校づくり課学校整備係長、学校配置調整第一係長
新しい学校づくり課職員3名
政策経営部 施設経営課長
施設経営課教育施設第二係長
施設経営課職員1名
松田平田設計・教育施設研究所設計共同企業体職員2名
 - 4 傍聴者数8名
-

1 開会

2 検討会会長 挨拶

3 志村小・志村四中小中一貫型学校設置検討会まとめ（案）について【資料1】

令和3年2月から開催している志村小・志村四中小中一貫型学校設置検討会について、検討の流れや検討の内容をまとめた資料を作成したため、当該資料の概要を説明した。

(1) 検討会の設置経緯・校舎等の建設計画について

志村小・志村四中小中一貫型学校設置検討会の設置に至るまでの経緯として、区における学校改築の計画を記載した「魅力ある学校づくりプラン」の概要や、検討会の前身である「魅力ある学校づくり協議会」における協議結果等について説明した。また、小中一貫型学校の建設計画について、校舎配置の考え方や、設計の概要等について説明した。

委員： 前回の検討会でも質問したが、志村四中の敷地の北東に隣接する駐輪場の校庭化を検討する件について、現在どのような状況となっているのか。

事務局： 志村四中の敷地の北東に隣接する「志村第4自転車駐車場」については、所管である土木部と移設に向けて協議を行っているところである。

当該自転車駐車場は、現在使用されている方が多くいるため、校庭化に伴う廃止ではなく、代替地の検討を併せて行っている。また、今後の進捗については、学校及び関係者の方にしっかりと報告していく。

委員： 状況については、前向きに検討されていると理解した。検討会は今回で終了となる予定であり、その後全委員が集まることが無くなるため、CS委員会等で報告されることになると思うが、CS委員会でも、委員が意見を述べる機会はあるのか。

事務局： おっしゃるとおり、検討会終了後はCS委員会等において報告を行っていく。報告を行った際に、その場でCS委員等の意見を伺うことになる。いただいたご意見も踏まえながら検討及び必要な事務手続きを進めていく。

(2) 検討会の検討項目・調整項目について

検討会設置時に設定した検討項目・調整項目の概要及び検討結果について説明を行った。

委員： 志村小は令和6年度に120周年、志村四中は令和7年度に70周年を迎える。小中一貫型学校となることによって、各校の周年のサイクルが変わることはないと認識しているが、教育委員会事務局としても同様の認識であるか。

事務局： 委員の認識と同様に、小中一貫型学校の設置により志村小・志村四中の各校の周年のサイクルが変わることはないと考えている。

委員： その場合、志村小・志村四中の各校の周年行事を引き続き行っていくことに加え、小中一貫型学校としての周年行事を別途行っていくこととなるのか。

事務局： その点については、現時点では明確な見解を持っていない。小中一貫型学校として開校した後、周年のタイミングが近付いた際に学校や教育委員会事務局等において検討することになると考える。

会長： 他に意見等が無いようであれば、本日お示ししている「志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会まとめ」については、今回の協議を以って承認いただいたということで、内容を決定する。

《一同同意》

4 小中一貫型学校の設計等について【資料2】

新校舎の設計内容について、前回の検討会で示した内容から変更のあった点や、より具体的に決定した点について説明するとともに、本計画に関してこれまでいただいた質問と回答について、Q&A方式で紹介した。

《意見・質問無し》

5 各委員より挨拶

検討会は今回を以って終了となるため、各委員より、一人ずつ挨拶をいただいた。

委員： 約3年間にわたり、本当にありがとうございました。検討が無事終了し、設計を進めていく段階となりました。また、今後は子どもたちや教員が活動しやすい、地域住民も日常的にかつ災害時も頼ることのできる学校をつかっていくために、運用にかかわるソフト面の対応を検討することがより重要になってくると思います。期待していますのでぜひ頑張ってくださいと思います。

委員： 志村小の移転については、検討会の前身である「魅力ある学校づくり協議会（志村小）」において、当時の委員より反対の意見が出た中、最終的には移転という結論に達し、移転について納得してもらえるよう説明と努力を重ねてきた経緯があったと思います。わたしはいじめを受けた経験から、最初から最後までいじめのテーマについて発言してきました。志村小・志村四中 小中一貫型学校では、いじめが起きにくい、また、いじめが起きた際には、隠蔽せずに、加害者がちゃんと処罰を受けて、被害者がきちんと回復できるようなシステムを構築し、板橋区中、日本中がそのシステムに倣うことができるような、板橋が誇る学校づくりを目指していただきたいと思います。

また、教職員の方々に余裕がないと、そのようなシステムを構築することが難しいため、教職員の方が余裕を持って働くことのできる学校になることを望んでいます。これまでありがとうございました。

委員： 基本的な設計や総論については、概ねよくまとまったのではないかと考えています。各論については、実際に校舎を使用する方々に詰めていただければよいのかなと思います。

先ほど、地域との関わりというお話も出ていましたが、改築にあたって

のデメリットを多く感じてしまう地域の方もいらっしゃるため、地域に開かれた公立の学校として、防災拠点となることと併せて、二十歳のつどいのような式典等にも使える施設にもしていただけたら良いと思います。今後も検討をよろしくお願いいたします。

委員： 検討会の前身である協議会から参加してきましたが、当初はまさか志村小と志村四中が一緒になるとは考えてもおらず、そういう時がきたのだなと思い、皆さんと一緒に検討しながら、新しい学校ができていくんだなあということに感動しました。会議に参加できて、本当によかったと思います。

地域の皆さんは、前々から知っている方も多かったため、これからも地域の皆さんやそのお子さんたちと相談し、力を借りながら、先ほど他の委員の方がおっしゃっていたいじめや不登校のこと等も含めて、何かやっていけたらなあと思います。ありがとうございました。

委員： 学校を新たにつくっていくときには、様々な視点からいろいろなことを考えてつくり上げていくんだなということ、この3年間検討とともに学ぶことができたと思います。これから新しい学校ができますが、そこが子どもたちにとってより良い環境であるように、先生方や地域の方にとっても開かれた学校として地域になじむ場所となってもらいたいと感じると共に、そのために少しでも役立てればと思っています。ありがとうございました。

委員： 検討が始められた当初は、この学校はどうなってしまうのかというところから入って、自分自身も含め、委員には志村四中の卒業生も複数いるため、委員それぞれの思いというものが、検討のいろいろな箇所に現れたように思いますが、未来の子どもたちが、ちゃんとした教育を受け、伸び伸びと通えるような学校をつくっていくことが大人の使命なのではないかと感じながら、委員として参加してきました。また、志村小は120周年、志村四中は70周年を近く迎えるということで、そういった脈々と続く歴史を、新しい校舎となった後も、地域の皆様と心を一つにして守っていくということが必要だと思います。そういった面も含めて、区の教育委員会事務局が先頭に立って、子どもたちの笑顔のためにいい学校をつくっていただければと思います。ありがとうございました。

委員： 検討会の前身である協議会から参加し、小中一貫型学校とはどんなものかというところから始まり、皆様と共に勉強しながら検討を重ねるうちに、あっという間にこのような素晴らしいものができあがり、私自身とても勉強になったと感じています。ありがとうございました。

委員： 検討会の前身である協議会から参加していました。小学校・中学校共にPTAを経験していたため、両方の課題等を認識し、いろいろと教育委員会の方々には辛辣な意見を言ったこともあります。今となつては、ここまでまとめ上げてくださったことに感謝します。先ほどから他の委員の方もおっしゃっていますが、建物をつくって終わりではなく、そこに児童・生徒が入り、学校としての命を吹き込んでいくというところが本当のスタートではないかと思います。引き続き、教育委員会事務局や、ここにいらっしゃる地域の方々もご協力をよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

委員： 資料を見ると、こんなにたくさんの検討を行ってきたんだなと改めて感じました。他の委員の方のお話しにも出ていますが、学校に命を吹き込む、どのような学校にするかという点で、現在、志村小と志村四中で連携をとりながらアイデアを出し合っているところです。そういったものを少しずつ実現していったら、実際に小中一貫型学校として開校した際には、子どもたちがいわゆる「中1ギャップ」を感じることなく、「中学生の先輩のところに行けるんだ」という気持ちで、志村四中へ入学することができるような、温かみのある学校にしていきたいと思っています。

現在の志村四中の教員についても、入れ替わりが落ち着いて、今後は異動がそれほど多くないと思います。教員たちに対しても、しっかり小中一貫型学校をつくっていかうという形で、進めていかうと思っておりますので、地域の方々からもぜひ意見を寄せていただいて、良い学校をつくっていききたいと思っております。ありがとうございました。

委員： 小中一貫型学校となった際には、小中の学びの連続性や、異学年交流の容易さ等のメリットを最大限生かして、いわゆる「中1ギャップ」の解消に対応した学校にして、板橋区をリードしていけるような学校にしていきたいと思っております。今まで、いろいろな検討や議論をしていただきありがとうございました。

委員： 検討会の資料や中台中への見学への参加等を通して、志村小の移転後に「子どもたちはこういうところに通うんだろうな」「校舎や学校生活はこういう環境になるんだな」といったイメージが湧きやすく、志村小に子どもを通わせている親としてもとても勉強になりました。ありがとうございました。

委員： 時代の流れとともに学校を新しくしていくことは大事なことでとは思いますが、反対の意見等もちろん出てくるものだという事も学ぶこ

とができました。一保護者として、検討会の中で小中一貫型学校の検討を間近で見ている、区の方々がいろいろと苦勞をされた上でこの計画が進んでいったことを実感しましたので、実際に新校舎が建ったときには、子どもたちにも地域の方にも、この学校は区の方が時間を費やして苦勞して出来上がったものであることを伝えていきたいなと思いました。ありがとうございました。

委員： 検討会の途中から参加したため、委員の皆さんが長年にわたって検討会をつくりあげてくださったことに感謝します。

子どもを志村小に通わせる保護者として、これからもこの計画に関わっていくこともあるかと思いますので、その際にはCS委員会等で意見を述べることもあると思います。ありがとうございました。

委員： 令和2年からスタートし、調整のためにいろいろとご足勞をいただきありがとうございました。志村小の敷地については、区有地への接道や防災面の活用など、志村小移転後の跡地活用の方向性を今後も引き続き調整していく必要があります。他の委員の方から、小中一貫型学校としてのメリットというお話がありましたが、そこを無くさないような話し合いを引き続き進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

委員： 令和元年11月の魅力ある学校づくり協議会から始まって、検討会が設置されてからも長く参加し、非常に勉強になりました。ありがとうございました。

委員： 志村四中は、志村親和町会の地域に所在しており、今まで防災訓練の会場としてもお借りしてきました。小中一貫型学校となってからも、防災拠点等としていろいろとお世話になると思います。

委員： 検討の始めのころは、小学生と中学生が一緒になるというイメージが湧かなかったですが、だんだんと検討を積み重ねているうちにイメージが湧いてきて、校舎に関する資料を見ると、とてもいいものができるのではないかと期待しています。

また、他の委員のかたもおっしゃっているように、避難場所や防災拠点としての役割も期待しています。

皆様から活発な意見が出て、とてもいい会だったと思います。

委員： 約3年間かけて、このような立派な報告書ができたということは、区の職員の努力があってこそだと思います。我々も感謝しなくてはならないと感じています。

小中一貫型学校の中身を良くするために一番大事なことは、校長先生が9学年を通した教育の方針をしっかりと立てて、イニシアチブをとっていくことだと思います。その点を頭に入れて、立派な新しい学校がこの地域に育つように頑張っていたいただければと思っております。ありがとうございました。

委員： 検討会の前身である協議会では、志村小を現在の敷地で改築してほしいという意見を発言した覚えがあります。その後、現地での改築は難しいということになり、志村四中の敷地で、新しい学校をすばらしいものにしていこうという方向となりました。苦渋の選択であり、いまだに複雑な思いもあります。

志村四中の敷地に小中一貫型学校をつくるという選択をしてからは、どこにも負けないような立派な学校にしてほしいと教育委員会事務局へお願いし、検討会でも一生懸命意見を出してきました。約3年間ありがとうございました。今後は区に任せる段階に入りますので、よろしくお願ひします。

6 教育長より挨拶

教育長： 皆様方におかれましては、志村小学校・志村第四中学校小中一貫型学校設置検討会が設置されて以降、学校の設置に向けて、小中一貫型学校の名称や施設整備に関する内容をはじめとした調整項目につきまして、多岐にわたるご検討いただき、ご尽力いただきましたことに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

令和3年2月から約3年間、18回の検討を重ねていただいた検討会が本日最終回を迎えることになりました。今回の計画は区内で初めての小中一貫型学校の設置ということから、調整・検討事項が多くあった中で、検討会では、円滑な学校開設に向けて、方向性をまとめていただきました。これまでに様々なご苦勞があったことと存じます。

板橋区教育委員会といたしましても、皆様が子供たちのことを考え、責任感を持ち懸命に検討を重ねていただいた内容の実現に向け、誠実かつ真摯に取り組んで参ります。社会の変化が予測困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と。社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きいものであると実感しています。

そのような中、志村小志村四中の小中一貫型学校は、小学校と中学校の義務教育9年間をつなぎ、学力の定着向上を図り、子供たちが安心安全に学ぶことのできる教育環境の充実を実現させていくものです。

今年の冬から本格的な工事が開始されることとなりますが、引き続き

皆様にご協力をいただきながら、小中一貫型学校の整備を進めて参ります。

皆様のこれまでのご尽力へ、深く感謝するとともに、未来を担う子供たちが、令和における新しい時代の学びを育む学校となるよう、今後ともご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます、私からの挨拶といたします。今日まで本当にありがとうございました。

7 事務連絡

志村小・志村四中 小中一貫型学校周知用チラシ及びホームページの紹介